

幸手市公共施設個別施設計画 【概要版】



1 計画の背景

①人口

- ・総人口は、平成 7（1995）年の 58,172 人をピークに減少が続いています。
- ・今後も減少を続け、「幸手市人口ビジョン（平成 28（2016）年）」の推計結果では、令和 27（2045）年には総人口は 4 万人を下回り、令和 38（2056）年には約 3 万 4 千人にまで減少するとの結果を示しています。

②財政

- ・人口減少に伴い、生産年齢人口も落ち込むことから、市税収入の減少が見込まれます。
- ・高齢者の人口構成比率が上昇することにより、社会保障関係経費の増加が見込まれ、投資的経費が抑制されていくことが予想されます。
- ・公共施設の老朽化に伴い、修繕等に充てる費用が増大することが見込まれます。仮に、現在の公共施設を全て維持し続ける場合、総合管理計画期間（平成 29（2017）年～令和 38（2056）年）の 40 年間に於いて更新などに係る費用は、約 584 億円（14.6 億円／年）になると推計されています。

③建築物系公共施設

- ・大規模修繕の目安とされる建築後 30 年を経過した建築物が、全体の 8 割程度あります。
- ・建築物の建設時期が一時期に集中していることから、今後の改修・更新の時期（費用）も一時期に集中することが見込まれ、財政負担の平準化を図るために、計画的な改修・更新の実施が課題となります。
- ・公共施設等の維持管理を効率的にするとともに、財政負担の縮減のため、将来の人口規模を考慮した施設の再配置等の方策が必要となります。
- ・施設全体の 5 割程度を占める学校施設については、建築後 30 年を超える建築物が全体の 9 割以上を占めています。施設の老朽化に加えて、児童・生徒数の減少により適正規模を満たさない学校の増加も見込まれることから、将来的には、人口規模に応じた学校の統廃合が課題となります。

市では、平成 29（2017）年 3 月に、市が保有する全ての公共施設等に対して、アセットマネジメントを推進するため、「幸手市公共施設等総合管理計画」（以下「総合管理計画」という。）を定めました。

公共施設等アセットマネジメントに関する基本方針

まちづくりの基本理念と将来像を踏まえた公共施設等アセットマネジメント

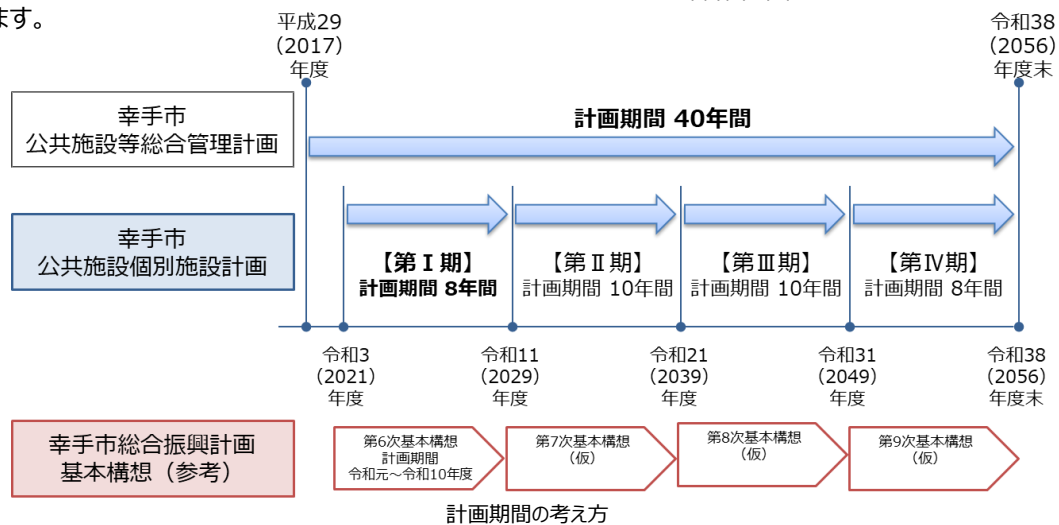
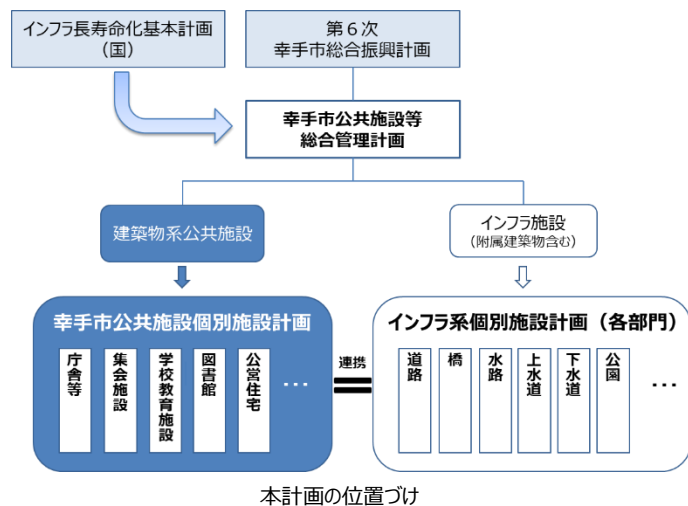
建築物系公共施設に関する基本方針

- ①人口構造変化や規模に応じた施設総量の削減
- ②新規整備の抑制と施設運営の効率化
- ③施設の集約化・複合化と市民サービスの維持・向上

2 幸手市公共施設個別施設計画について

「**幸手市公共施設等個別施設計画**」（以下「**本計画**」という。）は、総合管理計画を推進し、その方針や数値目標を実現するために、市の保有する公共施設等のうち、建築物系公共施設の複合化、廃止、長寿命化等に取り組むための具体的な方向性を示すことを目的に策定します。

- ・本計画は、市の保有する公共施設等のうち建築物系公共施設を対象に、国が策定を要請している個別施設計画として位置づけます。
- ・計画期間は、総合管理計画の計画期間のうち残り36年間で4期に分け、このうち第Ⅰ期（計画期間：令和3（2021）年度～令和10（2028）年度）の8年間とします。
- ・市の財政状況や制度改正、社会情勢の変化など、計画を見直す必要が生じた際には、適宜修正を図るものとします。
- ・計画期間の後期において、計画の進捗状況を管理・予測しながら、次期計画の検討に着手します。



3 対象施設

市の保有する公共施設の総量は、令和2年（2020）年3月末時点で97施設 144,418.49㎡となります。

本計画で扱う対象施設の総量は、以下のとおり上下水道及び公園等のインフラ施設に附属する建築物を除いたものです。

76 施設 135,903.01 ㎡

4 本計画の基本的な考え方

適正配置についての基本方針

方針1 施設総量の適正化

人口減少や将来の財政状況を踏まえ、施設総量の適正化を行います。適正化にあたっては、建築物の老朽化、維持管理コスト、利用状況等を踏まえ施設評価を行い、施設の統廃合等の方向性を判断していきます。

原則として、新規施設の整備によらず、既存施設の有効活用を第一に考え、改修や建替を行う際には、集約化・複合化を検討し、施設規模の適正化に努めます。

学校施設については、児童・生徒数に応じて統廃合はもとより、余裕教室の活用や機能移転についても検討します。

方針2 必要な機能の維持

施設を「機能」と「建物」に分けて捉え、施設総量の適正化により建築物の量が削減されたとしても、必要な機能については、集約化や複合化、機能移転等により維持していくとともに、防災機能の確保に努めていきます。

また、市民サービスの維持が図れるよう、効率的なサービスの提供方法や配置のあり方についても検討します。

方針3 耐久性の確保

市民サービスを維持するために必要な施設については、劣化が進行しやすい屋根・外壁などを改修することで、耐久性の確保を図ります。

また、定期的な劣化状況調査等により、劣化の兆候を事前に把握し、劣化が進行する前に補修を行うことで、施設を安全に使用できるようにしていきます。

鉄筋コンクリート造で強度が確保されている施設については、躯体の補強を含む長寿命化改修の実施について検討します。

個別施設についての基本方針

方針1 計画的な維持管理による長寿命化の推進

法定点検に加え、「劣化状況調査マニュアル」に基づく劣化状況調査を行い、そこから得られる結果に基づき計画的な維持管理を行い、突発的な故障や不具合等を未然に防止します。

そして、施設の劣化状況、長寿命化の費用対効果、長期的な活用の見込みを勘案して、建築物の長寿命化を図ります。

一方で、長寿命化の効果が十分に認められない場合や周囲に危険を及ぼす場合などは、廃止などについて検討します。

方針2 施設の特徴に合わせた維持管理の推進

施設の状況に応じて、計画的に維持管理を行う施設と故障が発生した際に修繕等を行う施設に分類し、それぞれの特性に合わせた維持管理方法を選択します。

また、長期的な視点から維持管理に要する財政負担の縮減、平準化を図ります。

方針3 施設の性能向上と環境負荷の低減

施設の修繕や更新にあたっては、社会情勢や住民ニーズの変化に対応し、長期利用ができるように施設の性能向上を図ります。

また、エネルギー効率を考慮した設備を導入することで、施設の性能向上とともに、光熱水費などの維持管理に要する費用を削減し、環境負荷の低減を図ります。

保全区分及び構造に応じた耐用年数

建築物の構造	【長寿命化型】 目標使用年数	【標準型】 標準使用年数	【従来型】 法定耐用年数
鉄骨鉄筋コンクリート造 鉄筋コンクリート造	80年	60年	50年
鉄骨造	80年	60年	40年
軽量鉄骨造	—	40年	30年
木造、その他	—	40年	25年

建築物の保全について3つの考え方を設定するとともに、それぞれに応じた耐用年数を整理します。

5 施設類型別の方向性（第Ⅰ期中に対策の実施が予定される施設）

本計画では、全ての対象施設について、施設類型別に今後（第Ⅰ期～第Ⅳ期）の方向性を示します。概要版では、第Ⅰ期（令和 3（2021）年～令和 10（2028）年）に具体的な対策の実施が予定される施設を抜粋し、取組内容と実施時期、対策に係る費用を示します。

集会施設

No.	施設名称	実施年度	R3（2021）	R4（2022）	R5（2023）	R6（2024）	R7（2025）	R8（2026）	R9（2027）	R10（2028）
1	コミュニティセンター	対策内容	統廃合に向けての検討							
		対策費用（千円）								
2	中央公民館	対策内容	統廃合に向けての検討							
		対策費用（千円）								
3	東公民館	対策内容	統廃合に向けての検討							
		対策費用（千円）								
4	西公民館	対策内容	統廃合に向けての検討							
		対策費用（千円）								
5	南公民館	対策内容	統廃合に向けての検討							
		対策費用（千円）								
6	北公民館	対策内容	統廃合に向けての検討							
		対策費用（千円）								
7	勤労青少年ホーム （中央公民館内）	対策内容	統廃合に向けての検討							
		対策費用（千円）								

博物館等

No.	施設名称	実施年度	R3（2021）	R4（2022）	R5（2023）	R6（2024）	R7（2025）	R8（2026）	R9（2027）	R10（2028）
1	郷土資料館	対策内容		一部廃止 （旧吉田中学校プール）						
		対策費用（千円）		22,906						
2	郷土資料館 民具資料展示室	対策内容		今後の方向性を検討 （長寿命化含む）						
		対策費用（千円）		161,950						

産業系施設

No.	施設名称	実施年度	R3（2021）	R4（2022）	R5（2023）	R6（2024）	R7（2025）	R8（2026）	R9（2027）	R10（2028）
1	西農村文化センター （西公民館内）	対策内容	統廃合に向けての検討							
		対策費用（千円）								
2	勤労福祉会館	対策内容			大規模					
		対策費用（千円）			41,118					

学 校

No.	施設名称	実施年度	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)	R7 (2025)	R8 (2026)	R9 (2027)	R10 (2028)
1	幸手小学校	対策内容	統廃合や小中一貫校化に向けての検討							
		対策費用 (千円)								
2	行幸小学校	対策内容	統廃合や小中一貫校化に向けての検討							
		対策費用 (千円)								
3	上高野小学校	対策内容	統廃合や小中一貫校化に向けての検討							
		対策費用 (千円)								
4	権現堂川小学校	対策内容	統廃合や小中一貫校化に向けての検討							
		対策費用 (千円)								
5	吉田小学校	対策内容	統廃合や小中一貫校化に向けての検討							
		対策費用 (千円)								
6	八代小学校	対策内容	統廃合や小中一貫校化に向けての検討							
		対策費用 (千円)								
7	長倉小学校	対策内容	統廃合や小中一貫校化に向けての検討							
		対策費用 (千円)								
8	さくら小学校	対策内容	統廃合や小中一貫校化に向けての検討							
		対策費用 (千円)								
9	さかえ小学校	対策内容	統廃合や小中一貫校化に向けての検討							
		対策費用 (千円)								
10	幸手中学校	対策内容	統廃合や小中一貫校化に向けての検討							
		対策費用 (千円)								
11	西中学校	対策内容	統廃合や小中一貫校化に向けての検討							
		対策費用 (千円)								
12	東中学校	対策内容	統廃合や小中一貫校化に向けての検討							
		対策費用 (千円)								

幼 稚 園

No.	施設名称	実施年度	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)	R7 (2025)	R8 (2026)	R9 (2027)	R10 (2028)
1	吉田幼稚園	対策内容		廃止						
		対策費用 (千円)								

保 育 所

No.	施設名称	実施年度	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)	R7 (2025)	R8 (2026)	R9 (2027)	R10 (2028)
1	第一保育所	対策内容		今後の方向性を検討 (大規模改修含む)						
		対策費用 (千円)		60,636						
3	第三保育所	対策内容		今後の方向性を検討 (大規模改修含む)						
		対策費用 (千円)		60,636						

幼児・児童施設

No.	施設名称	実施年度	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)	R7 (2025)	R8 (2026)	R9 (2027)	R10 (2028)
1	児童館	対策内容			大規模					
		対策費用 (千円)			26,096					
2	にじいろ児童クラブ [*] (旧たつまき)	対策内容			大規模					
		対策費用 (千円)			10,464					
3	あおぞら児童クラブ [*]	対策内容	小中学校に準じて検討							
		対策費用 (千円)								
4	ひまわり児童クラブ [*]	対策内容	小中学校に準じて検討							
		対策費用 (千円)								
5	たけのご児童クラブ [*]	対策内容	小中学校に準じて検討							
		対策費用 (千円)								
6	たんぼぼ児童クラブ [*]	対策内容	小中学校に準じて検討							
		対策費用 (千円)								
7	風の子児童クラブ [*]	対策内容	小中学校に準じて検討							
		対策費用 (千円)								
8	たいよう児童クラブ [*]	対策内容	小中学校に準じて検討							
		対策費用 (千円)								
9	いなほ児童クラブ	対策内容	小中学校に準じて検討							
		対策費用 (千円)								
10	さいかち児童クラブ	対策内容	小中学校に準じて検討							
		対策費用 (千円)								
11	さくら児童クラブ	対策内容	小中学校に準じて検討							
		対策費用 (千円)								
12	八代っ子児童クラブ	対策内容	小中学校に準じて検討							
		対策費用 (千円)								

高齢福祉施設

No.	施設名称	実施年度	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)	R7 (2025)	R8 (2026)	R9 (2027)	R10 (2028)
1	老人福祉センター	対策内容		一部廃止 (浴室)						
		対策費用 (千円)		2,754						

保健施設

No.	施設名称	実施年度	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)	R7 (2025)	R8 (2026)	R9 (2027)	R10 (2028)
1	保健福祉総合センター (ウェルサ手)	対策内容			活用方法についての検討					
		対策費用 (千円)								

庁舎等

No.	施設名称	実施年度	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)	R7 (2025)	R8 (2026)	R9 (2027)	R10 (2028)
1	市庁舎	対策内容	検討 (建設基本構想の策定)		検討 (建設基本設計・実施設計の作成)		建替			
		対策費用 (千円)						2,086,680		

供給処理施設

No.	施設名称	実施年度	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)	R7 (2025)	R8 (2026)	R9 (2027)	R10 (2028)
2	一般廃棄物最終処分場	対策内容	一部廃止 (閉鎖)							
		対策費用 (千円)								
3	ひばりヶ丘桜泉園	対策内容			一部廃止 (ごみ焼却施設) 長寿命化 (管理棟、粗大ごみ処理施設)					
		対策費用 (千円)			630,656					

その他

No.	施設名称	実施年度	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)	R7 (2025)	R8 (2026)	R9 (2027)	R10 (2028)
1	心すこやか支援室	対策内容	今後のあり方について検討							
		対策費用 (千円)								
2	旧保健センター	対策内容	廃止							
		対策費用 (千円)								
4	旧八代会館	対策内容	廃止							
		対策費用 (千円)								
5	旧消防署東分署	対策内容	廃止							
		対策費用 (千円)								
6	旧消防団 3 - 1 器具庫	対策内容	廃止							
		対策費用 (千円)								
7	旧消防団 4 - 1 器具庫	対策内容	廃止							
		対策費用 (千円)								
8	旧消防団 4 - 2 器具庫	対策内容	廃止							
		対策費用 (千円)								
9	旧消防団 5 - 1 器具庫	対策内容	廃止							
		対策費用 (千円)								
10	旧消防団 6 - 1 器具庫	対策内容	廃止							
		対策費用 (千円)								

6 施設総量の削減量

第 I 期において削減の対象となる施設は、以下のとおりです。

本計画の方針を実施した場合、第 I 期の 8 年間に、令和 2 (2020) 年 3 月末における対象施設総量の 3.32% を削減できる見込みです。

施設分類	施設名称	建築年	削減面積 (㎡)
博物館等	郷土資料館 (旧吉田中学校プール)	1971	-677.70 ㎡
供給処理施設	ひばりヶ丘桜泉園 (ごみ焼却施設)	1982	-1,868.80 ㎡
その他 (普通財産)	旧保健センター	1980	-880.41 ㎡
	旧八代会館	1974	-156.50 ㎡
	旧消防署東分署	1983	-583.17 ㎡
	旧消防団 3 - 1 器具庫	1985	-49.68 ㎡
	旧消防団 4 - 1 器具庫	1983	-39.74 ㎡
	旧消防団 4 - 2 器具庫	1996	-70.38 ㎡
	旧消防団 5 - 1 器具庫	2004	-74.52 ㎡
	旧消防団 6 - 1 器具庫	1995	-105.16 ㎡
第 I 期削減面積合計			-4,506.06 ㎡

7 改修・更新費用の試算結果と効果の検証

総合管理計画期間内における改修・更新等費用を以下の3つのパターンで試算し、本計画に基づく削減効果の検証を行います。

パターン1：標準型

- (ア) 施設総量の適正化や長寿命化を行わず、全ての建築物系公共施設について、標準使用年数の中間年にて大規模改修を実施の上、標準使用年数まで使用し、同規模で更新した場合
- (イ) 鉄骨鉄筋コンクリート造、鉄筋コンクリート造、鉄骨造の施設は標準使用年数 60 年まで使用するために建築後 30 年目で大規模改修を実施し、軽量鉄骨造、木造の施設は標準使用年数 40 年まで使用するために建築後 20 年目で大規模改修を実施

パターン2：長寿命化型

- (ア) 施設総量の適正化を行わず、鉄骨鉄筋コンクリート造、鉄筋コンクリート造、鉄骨造の建築物系公共施設について、目標使用年数まで使用するための長寿命化改修を行った場合
- (イ) 鉄骨鉄筋コンクリート造、鉄筋コンクリート造、鉄骨造の施設は目標使用年数 80 年まで使用するために建築後 20 年、60 年目で中規模修繕、40 年目で長寿命化改修を実施（軽量鉄骨造、木造の施設は、標準型と同様とする）

パターン3：施設総量の適正化（個別施設の方向性）を実施

- (ア) 全ての建築物系公共施設について、計画期間内に施設総量の適正化を行った場合



パターン1からパターン3の試算結果一覧

パターン	計画期間内 総額	年平均	パターン1からの 縮減額
1 標準型	470.9 億円	13.1 億円	—
2 長寿命化型	337.0 億円	9.4 億円	133.9 億円 (3.7 億円/年)
3 個別施設の方向性を反映	322.5 億円	9.0 億円	148.4 億円 (4.1 億円/年)

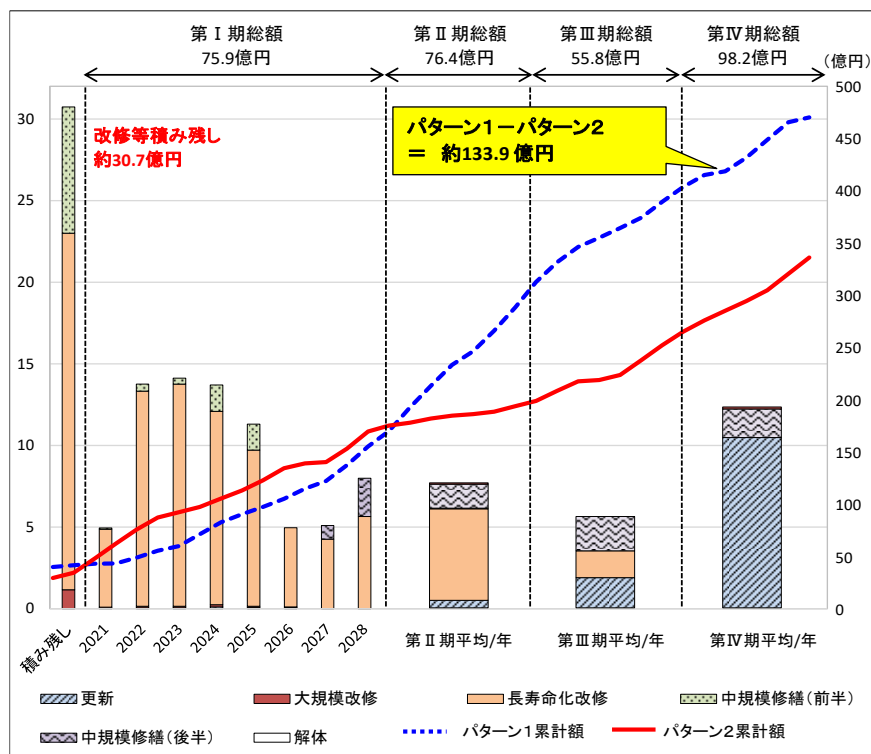
パターン2：長寿命化の効果

パターン1とパターン2における今後36年間の改修・更新費用を比較すると、長寿命化改修に基づく維持管理を実施した場合には、約133.9億円（年平均で3.7億円）のコスト削減が可能となります。

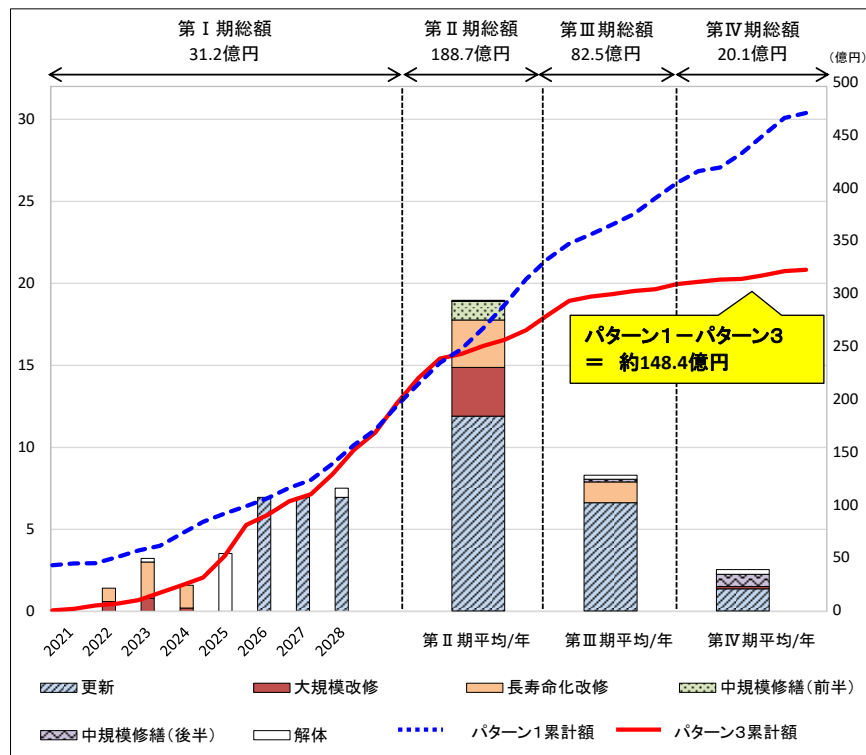
パターン3：施設総量の適正化に関する効果

パターン3における今後36年間の改修・更新費用の総額は約322.5億円（年平均で9.0億円）であり、パターン2と比較して約14.5億円（年平均で0.4億円）のコストの削減が見込まれます。
また、パターン1の改修・更新費用の総額約470.9億円に対しては、パターン3のコストの削減効果は約148.4億円であり、1年あたりの削減効果は約4.1億円が見込まれます。

パターン 2 における試算結果とパターン 1 及びパターン 2 における費用の比較



パターン 3 における試算結果とパターン 1 及びパターン 3 における費用の比較



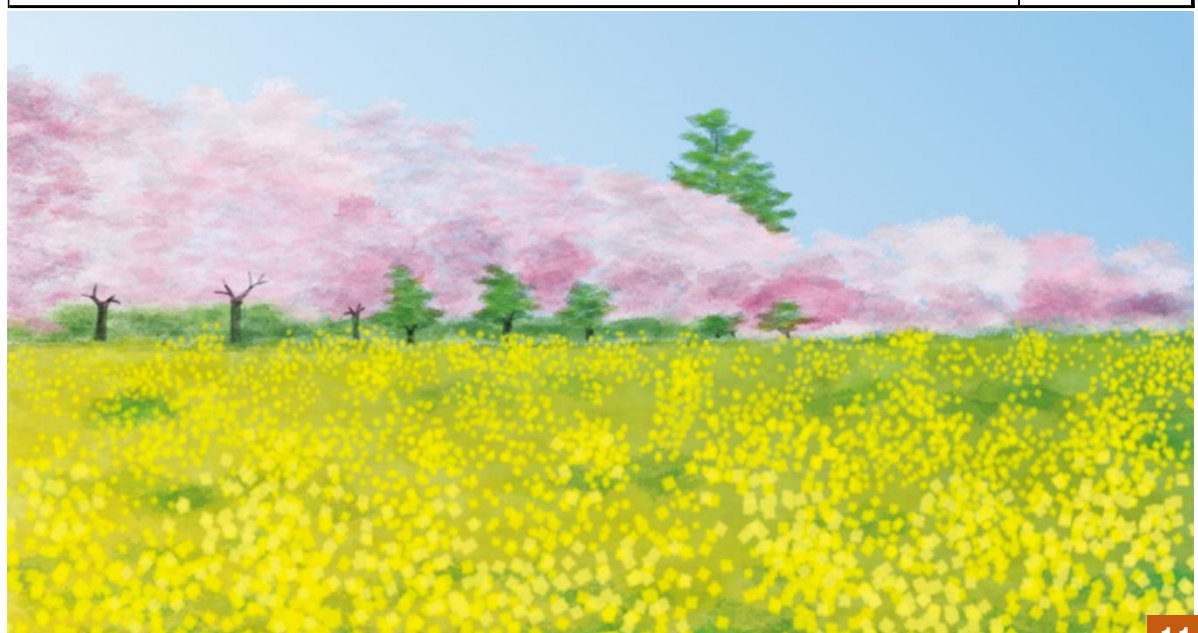
以上の内容が「幸手市公共施設個別施設計画」の概要です。アセットマネジメントの推進に向けて、将来の幸手市のまちづくりのため、引き続き、皆様のご理解、ご協力をお願い申し上げます。

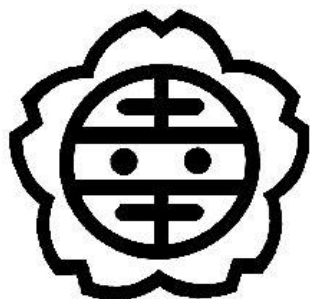


【資料】 本計画が対象とする施設一覧

施設分類	No.	施設名称	建築年 (代表棟)	構造 (代表棟)	延床面積 (㎡)
集会施設	1	コミュニティセンター	1991	鉄筋コンクリート造	881.17
	2	中央公民館	1973	鉄筋コンクリート造	939.80
	3	東公民館	1991	鉄筋コンクリート造	1,359.26
	4	西公民館	1984	鉄筋コンクリート造	550.05
	5	南公民館	1988	鉄筋コンクリート造	1,382.00
	6	北公民館	1987	鉄筋コンクリート造	1,468.91
	7	勤労青少年ホーム	1973	鉄筋コンクリート造	648.08
図書館	8	図書館	1982	鉄筋コンクリート造	1,459.68
	9	図書館香日向分館	1990	鉄筋コンクリート造	557.15
博物館等	10	郷土資料館	1995	鉄筋コンクリート造	2,235.11
	11	郷土資料館 民具資料展示室	1949	木造	647.80
スポーツ施設	12	市民文化体育館(アスカ幸手)	1994	鉄筋コンクリート造	10,662.19
	13	弓道場	1991	鉄骨造	209.76
	14	武道館	1984	鉄骨造	1,323.00
	15	市営少年サッカー場	1994	木造	63.44
	16	カヌー艇庫	2003	鉄骨造	98.93
産業系施設	17	西農村文化センター	1984	鉄筋コンクリート造	498.99
	18	勤労福祉会館	1989	鉄筋コンクリート造	328.94
	19	市営釣場管理棟	1994	鉄骨造	107.74
学校	20	幸手小学校	1968	鉄筋コンクリート造	7,483.87
	21	行幸小学校	1977	鉄筋コンクリート造	4,521.62
	22	上高野小学校	1974	鉄筋コンクリート造	5,077.61
	23	権現堂川小学校	1985	鉄筋コンクリート造	3,751.37
	24	吉田小学校	1984	鉄筋コンクリート造	4,441.68
	25	八代小学校	1983	鉄筋コンクリート造	3,841.25
	26	長倉小学校	1975	鉄筋コンクリート造	5,895.62
	27	さかえ小学校	1976	鉄筋コンクリート造	6,148.51
	28	さくら小学校	1982	鉄筋コンクリート造	6,283.82
	29	幸手中学校	1968	鉄筋コンクリート造	9,008.97
	30	西中学校	1978	鉄筋コンクリート造	9,249.53
	31	東中学校	1978	鉄筋コンクリート造	5,989.25
幼稚園	32	吉田幼稚園	1963	木造	1,206.48
保育所	33	第一保育所	1981	鉄骨造	771.36
	34	第二保育所	2017	鉄骨造	986.01
	35	第三保育所	1978	鉄骨造	772.42
幼児・児童施設	36	児童館	1984	鉄骨造	307.01
	37	にじいろ児童クラブ(旧たつまき)	1984	鉄骨造	123.10
	38	あおぞら児童クラブ	1971	鉄筋コンクリート造	101.00
	39	ひまわり児童クラブ	2017	木造	99.79
	40	たけのこ児童クラブ	2005	木造	108.00
	41	たんぽぽ児童クラブ	1975	鉄筋コンクリート造	77.20
	42	風の子児童クラブ	1978	鉄筋コンクリート造	65.52
	43	たいよう児童クラブ	1992	軽量鉄骨プレキャスト造	312.96
	44	いなほ児童クラブ	2017	木造	99.79
	45	さいかち児童クラブ	2016	木造	99.37
	46	さくら児童クラブ	2016	木造	99.37
	47	八代っ子児童クラブ	2017	木造	99.79

施設分類	No.	施設名称	建築年 (代表棟)	構造 (代表棟)	延床面積 (㎡)
高齢福祉施設	48	老人福祉センター	1986	鉄筋コンクリート造	1,393.95
自立支援施設	49	障害者自立支援施設 さくらの里	1996	軽量鉄骨造	278.24
	50	障害者自立支援施設 なのはなの里	2001	鉄骨造	359.15
保健施設	51	保健福祉総合センター(ウエルス幸手)	2004	鉄骨鉄筋コンクリート造	6,359.57
庁舎等	52	市庁舎	1967	鉄筋コンクリート造	5,867.72
	53	幸手駅西口土地区画整理事務所	2019	木造	209.92
公営住宅	54	市営住宅	1968	鉄筋コンクリート造	3,052.77
消防施設	55	団本部	2003	木造	74.52
	56	消防団第1分団	1997	木造	116.54
	57	消防団第2分団	1995	木造	105.16
	58	消防団第3分団	1996	木造	105.16
	59	消防団第4分団	1999	木造	105.16
	60	消防団第5分団	1994	木造	97.29
	61	消防団第6分団	2001	木造	77.42
	62	消防団第7分団	2001	木造	74.52
	63	消防団第8分団	2003	木造	74.52
	64	香日向污水处理場	1988	鉄筋コンクリート造	720.59
供給処理施設	65	一般廃棄物最終処分場	1995	鉄筋コンクリート造	144.48
	66	ひばりヶ丘桜泉園	1981	鉄筋コンクリート造	5,626.43
その他（普通財産）	67	心すこやか支援室	1993	鉄骨造	304.09
	68	旧保健センター	1980	鉄筋コンクリート造	880.41
	69	旧香日向小学校	1990	鉄筋コンクリート造	6,351.98
	70	旧八代会館	1974	木造	156.50
	71	旧消防署東分署	1983	鉄筋コンクリート造	583.17
	72	旧消防団3－1器具庫	1985	木造	49.68
	73	旧消防団4－1器具庫	1983	木造	39.74
	74	旧消防団4－2器具庫	1996	木造	70.38
	75	旧消防団5－1器具庫	2004	木造	74.52
	76	旧消防団6－1器具庫	1995	木造	105.16
合計					135,903.01





幸手市公共施設個別施設計画【概要版】

令和 2（2020）年 11 月

幸手市総合政策部政策課
〒340-0192 埼玉県幸手市東 4-6-8
TEL 0480-43-1111（代表）